

2013 NICE にほんごスピーチコンテスト 第三位 謝傑(シェ ジェ)さん(中国)

『初めてのホームステイ』

みなさん、こんにちは。みなさんは「ホームステイ」って知っていますか？もちろん知っていますよね。「ホームステイ」してみたいですか。知らない人の家に泊まるなんてちょっと・・・という人もいるんじゃないでしょうか。



実は、今年の8月24日～25日、私は初めてのホームステイを体験したんです。1泊2日で短いですが、私の人生にとって永遠に忘れられない記憶になりました。この体験で、色々な発見や驚きや喜びを感じました。その中からいくつかお話ししましょう。

ホームステイの受け入れ先は跡部さんのお宅です。沼津駅には家族みんなで出迎えてくれて、跡部さんの家に行きました。家に入ったとき、なんとという綺麗な家だろうと思いました。家の面積はそんなに大きくないけど、広がりのある感じでした。部屋の中は、いろいろな物がきちんと整理されていて、空間を巧妙に利用しています。家具や家電製品など、ぴかぴかで新品かと思いましたが、何年も使っていると聞いて、信じられませんでした。

居間に案内されて、部屋をぐるりと見渡しましたが、「あれ？寝室はどこ？この家には居間しかないのかな」と疑問を持っていました。夜寝る時、寝室に案内されて始めてわかりました。玄関から居間までの廊下の途中に、寝室の入り口があったんです。入り口は、襖だったので、前を通ったのにぜんぜん気が付きませんでした。ドアと違って、引き戸は開けたり閉めたり時に広い空間が必要ではありません。だから、そんなに広くない廊下の途中に寝室の入り口を作ることができるのです。このように収納や間取りに、空間を無駄なく利用する工夫をしているんだなあと感心しました。

次の日、跡部さんの家族と一緒に温泉に行ったんですが、その時も色々な工夫を発見しました。温泉の湯船は一つだけではなくて、いくつかに分けてあります。お湯の温度も45度と、40度と、さらに冷たい湯船もあります。そして屋内風呂と露天風呂も違います。一つ一つのお風呂に、それぞれの効能があって、一つ一つ説明が書いてあります。今一番印象深かったのは電流温泉です。弱い電流をお湯に流して、体に微かな刺激を与えると、

効能があるそうです。効能だけではなくて、湯船の形や素材も様々です。温泉と一言で言っても、こんなに工夫して楽しむなんて、さすが日本人だなと感心しました。私はというと、こっちのお風呂に入って出て、別のお風呂に入って出て、また次のお風呂に・・・と、けっこう忙しかったです。温泉に体をつけていると、日本人はなぜ温泉が好きか何となく分かりました。のんびりした気持ちになって、1日のストレスが全部取れたようです。

このように、日本人の生活の色々なところに巧妙な工夫が見られます。国土が狭いため、空間を有効に利用する工夫をします。いつも忙しい日本人だからこそ、温泉でのんびりする気持ち良さを大事にし、またより良い時間を過ごすために工夫します。

ここで私はあることに気が付きました。世界中での日本の製品は愛用され、日本のモノづくりは、世界で認められています。この日本のモノづくりの精神は、日本人の生活のちょっとした工夫から発展してきたのではないのでしょうか。

今思い出せば、この二日間でいろんな初めての体験がありました。跡部さんの家族の暖かい気持ちもしみじみと感じました。その中でも、日本人の工夫精神を発見したことが、今回のホームステイの最大の収穫かなあとと思います。